週間情報

№0712
発行日　令和7年4月1日
発行所　全国消防長会
　　一般財団法人全国消防協会
担　当　企画部企画課　03-4500-6622

両 会 の 動 き

◆　事務局職員の人事異動について

全国消防長会／一般財団法人全国消防協会

このことについて、下記のとおりお知らせします。

記

〈全国消防長会〉

1　令和７年３月３１日付異動

⑴　退職　２人

太 田　　孝	事業部長	
上 平 信 男	総務部総務課総務第二係主任	

⑵　解嘱　２人

上 田 邦 子	総務部財務課課長補佐兼経理担当係長	
石 渡 千 晴	総務部国際業務課国際業務係主事	

⑶　帰任　１２人

小 倉 康 史	総務部長	東京消防庁へ
橋 口 大 史	総務部国際業務課長兼渉外担当課長	東京消防庁へ
豊 田 大 祐	企画部企画課長兼情報管理課長	福岡市消防局へ
小久保 巌義	事業部事業管理課長	千葉市消防局へ
山 﨑 正 俊	総務部総務課総務第一係長	東京消防庁へ
増 子 義 晃	総務部総務課渉外第二係長	相模原市消防局へ
岡 﨑 世 紘	企画部企画課広報担当係長	熊本市消防局へ
髙 林 謙 策	企画部情報管理課情報企画担当係長	浜松市消防局へ
小 山 真 吾	事業部事業企画課技術担当係長	さいたま市消防局へ
佐々木 史広	事業部事業管理課課長補佐兼救急担当係長	仙台市消防局へ
東 條 太 一	事業部事業管理課予防担当係長兼危険物担当係長	川崎市消防局へ
阪 上　　正	事業部事業管理課総務担当係長	堺市消防局へ

2　令和７年４月１日付異動

⑴　採用　１人

藤 沢 直 樹	事業部長

⑵　委嘱　２人

鳥谷部　　浩	総務部総務課総務第二係主任
茂 呂 直 樹	総務部財務課経理係主事 （総務部国際業務課国際業務係兼財務課経理係主事）

⑶　昇任　１人

石 井 健 一	総務部国際業務課国際業務係長 （総務部国際業務課国際業務係主任）

⑷　着任　１２人

武 藤 大 介	総務部長	東京消防庁から
今 西 裕 介	総務部国際業務課長兼渉外担当課長	東京消防庁から
大 曲 央 将	企画部企画課長兼情報管理課長	福岡市消防局から
伊 藤　　武	事業部事業管理課長	千葉市消防局から
稲 垣 文 隆	総務部総務課渉外第一係長	東京消防庁から
古 木 秀 也	総務部総務課渉外第二係長	新潟市消防局から

中 西 紘 平　　企画部企画課広報担当係長　　熊本市消防局から
木 原　　巧　　企画部企画課広聴担当係長　　相模原市消防局から
爪田 千帆里　　企画部情報管理課情報企画担当係長　　浜松市消防局から
新 井 宏 幸　　事業部事業企画課技術担当係長　　さいたま市消防局から
久保田 翔悟　　事業部事業管理課課長補佐兼救急担当係長　広島市消防局から
小野 英理子　　事業部事業管理課予防担当係長兼危険物担当係長
川崎市消防局から

⑸　局内異動　２人
武 藤 憲 佑　　総務部総務課総務第一係長　　（総務部総務課渉外第一係長）
田 中　　司　　事業部事業管理課総務担当係長　　（企画部企画課広聴担当係長）

〈一般財団法人全国消防協会〉

１　令和７年３月３１日付異動

⑴　退職　１人
上 田 邦 子　　総務部財務課課長補佐兼経理担当係長

２　令和７年４月１日付異動

⑴　採用　１人
鳥谷部　浩　　総務部業務課業務係主任

⑵　局内異動　４人
石 井 美 香　　総務部業務課保険事業係長　　（総務部業務課業務推進係長）
石 井 健 一　　総務部業務課業務係長　　（総務部業務課業務推進係主任）
石 渡 千 晴　　総務部業務課保険事業係兼業務係主事
（総務部業務課業務推進係主事）
茂 呂 直 樹　　総務部財務課経理係主事
（総務部業務課業務推進係兼財務課経理係主事）

消 防 本 部 の 動 き

訓　　練

◆　地震災害対応訓練を実施

湖南広域消防局（滋賀）

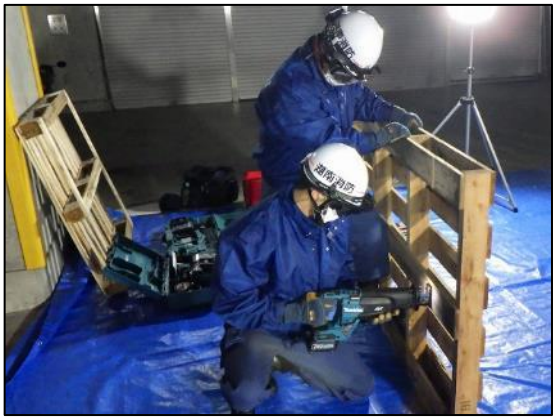
湖南広域消防局では、令和７年３月４日（火）、地震災害対応訓練を実施しました。

令和６年能登半島地震では、道路の亀裂や陥没などにより大型消防車両の進出が困難を極め、救助活動が難航しました。これらの教訓を踏まえ、当消防局では、地震災害時における救助対応用資機材を全ての消防署と出張所へ配備し、小型消防車両に同資機材を積載して出場する体制を整備しました。

当日は、「地震が発生し、夜間に狭隘現場へ出場する。」との想定で、小型消防車両への迅速な資機材の積み込み、迅速な出場、資機材取り扱い要領の習得・精通を主眼として、訓練を実施しました。

今後も、災害への備えを怠らず、災害対応能力の向上に努めてまいります。

【小型消防車両】



【資機材取り扱い訓練の様子】

◆　解体予定の建物を活用した救助訓練を実施

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、令和７年３月１１日（火）、熊本市消防局と合同で、解体予定の建物（市民文化ホール・福祉文化会館）を活用した救助訓練を実施しました。

当日は、熊本市消防局から３人の職員が参加し、大規模地震を想定したブリーチング訓練やＣＳＲＭ訓練などを行い、東日本大震災の発生から１４年を迎える日に、実際の建物を活用した訓練は大変貴重な経験となりました。

一人でも多くの命を救うため、今後も訓練を継続し、南海トラフ地震などの大規模地震に備えてまいります。

【訓練の様子】

研　　修

◆　「火災調査事例発表会」を開催

埼玉県南西部消防局（埼玉）

埼玉県南西部消防局では、令和７年３月７日（金）、「火災調査事例発表会」を開催しました。

当日は、埼玉県警察本部捜査第一課の２人を講師としてお招きし、「埼玉県警察の火災捜査」についてご講演いただきました。消防機関による火災調査と警察機関による火災捜査に目的の違いはありますが、連携体制の重要性と火災捜査について理解を深めることができました。

また、火災調査事例の発表を行い、各事例を通して自らが果たすべき役割を確認しながら聴講するとともに、活発な質疑応答があり、大変有意義な事例発表会となりました。

今後も、火災予防に資するため、同警察本部との連携強化を図るとともに、円滑な火災調査と職員の資質の向上に努めてまいります。

【事例発表会の様子】

◆　警防研修会を実施

鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、令和７年３月７日（金）、内部研修の一環として、次世代自動車の事故などに関する警防研修会を実施しました。

この研修会は、電気自動車が関連した車両火災が国内外を問わず増加傾向にあり、鎮火まで長時間を要する事案や再燃する事案などが発生していることから、乗用車を始め次世代自動車に関する知見を深めるとともに、安全で効果的な現場活動を行うことを目的として実施したものです。

当日は、１００人を超える職員が受講し、一般財団法人日本自動車研究所の高橋昌志氏を講師としてお招きし、「次世代自動車の事故等に関する活動技術」についてご講義いただきました。

今後、技術の進歩とともに自動車構造も変化し消防活動も複雑化していきますが、効果的な研修会を継続し、あらゆる災害情報に対するアンテナを高く持ち備えるとともに、適切な現場活動に努めてまいります。

【研修会の様子】

◆　「消防行政講演会」を開催

伊賀市消防本部（三重）

伊賀市消防本部では、令和７年３月１２日（水）、「消防行政講演会」を開催しました。

この講演会は、消防職団員などが今後の消防行政（特に小規模自治体）において直面する課題を把握するとともに、その課題に対して危機意識をもちながら的確に対応し、持続可能な消防行政を構築することを目的として開催したものです。

当日は、当消防本部職員のほか、伊賀市消防団員、伊賀市議会議員、県内消防本部関係者などが参加し、関西大学社会安全学部の永田尚三教授を講師としてお招きして、「市町村消防の現状と課題及び今後の展望」と題して、ご講演いただきました。

今後も、伊賀市の課題を把握し、持続可能な消防行政を構築するとともに、関係機関との連携強化に努めてまいります。

【講演会の様子】

◆　２消防本部と合同で電気バス対応研修を実施

猪名川町消防本部（兵庫）

猪名川町消防本部では、令和７年３月１３日（木）、阪急バス株式会社猪名川営業所にご協力いただき、宝塚市消防本部および川西市消防本部と合同で、電気バス対応研修を実施しました。

この研修は、電気バスの普及に伴い、交通事故などの災害における初動対応時の専門的知識・技術を習得することを目的として実施したものです。

当日は、バス販売メーカーの技術担当者から、電気バスの基本構造、災害発生時における高電圧サービスプラグの離脱手順、緊急時における車内へのアクセス方法などについて、実車を用いながらご説明いただきました。

今後も、技術革新に伴い多様化する災害において迅速かつ適確に対応するため、各関係機関との連携強化を図るとともに、知識・技術の習得に努めてまいります。

【研修の様子】

◆　「令和６年度救急活動症例検討会」を開催

根室市消防本部（北海道）

根室市消防本部では、令和７年３月１４日（金）、「令和６年度救急活動症例検討会」を開催しました。

この検討会は、救急救命士を含む救急隊員による応急処置などの質の向上を図ることを目的として、毎年開催しているものです。

当日は、市立根室病院の三好副院長、山田医師、医療スタッフにご参加いただき、例年以上に活発な意見交換を行うことができ、大変有意義な検討会となりました。

今後も、医療機関との連携強化を図るとともに、市民の皆さまにより良い救急医療を提供できるよう努めてまいります。

【検討会の様子】

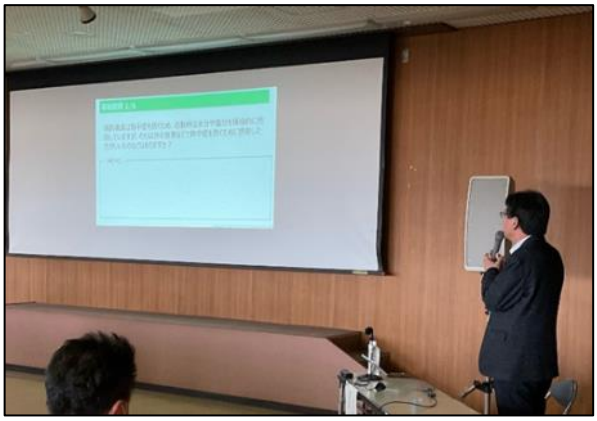
◆　包括連携事業に係る講習会を開催

知多市消防本部（愛知）

知多市消防本部では、令和７年３月１４日（金）、平成３０年に株式会社スギ薬局と締結した「地域活性化包括連携協定」に基づき、包括連携事業に係る講習会を開催しました。

当日は、当消防本部の職員約半数が参加し、スギホールディングス株式会社と大塚製薬株式会社の職員を講師としてお招きして、「消防職員向けの熱中症対策」についてご講義いただき、熱中症の現状や熱中症対策のポイント（暑熱順化や水分と塩分の摂取など）などを学ぶことができました。

今後は、学んだ内容を生かし、暑さに負けない体づくりと活動中の熱中症予防を行い、安全な業務遂行につなげてまいります。



【講習会の様子】

◆　違反処理に関する職員研修会を実施

泉州南消防組合泉州南広域消防本部（大阪）

泉州南消防組合泉州南広域消防本部では、令和７年３月１３日（木）、１４日（金）の２日間、各署の査察担当職員を対象に、違反処理に関する職員研修会を実施しました。

この研修会は、違反処理業務に関するシミュレーションを主体に行うことで、違反処理の進め方を学ぶとともに、知識の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、総務省消防庁の「違反是正の推進に係る実務研修」を受講した職員が講師となり、違反処理に関する留意事項と基礎知識について講義した後に、質問調書を模擬で作成し、参加した多数の職員から活発な意見や質問などがあり、大変有意義な研修会となりました。

消防が付与されている権限を正しく行使することで、火災危険を軽減し、公共の安全を守ることにつながることから、今後も、さまざまな研修会を継続し、予防技術の向上に努めてまいります。

【研修会の様子】

そ　の　他

◆　消防功績者に表彰状を贈呈

埼玉県央広域消防本部（埼玉）

埼玉県央広域消防本部では、令和７年２月１６日(日)、３月６日（木)、２事案の消防功績者の５人（１人欠席）に対して、消防長から表彰状を贈呈しました。

１事案目は、令和６年１１月２３日（土）に管内で発生した建物火災において、付近にいた消防功績者の３人が連携し、迅速な１１９番通報、初期消火、適切な避難誘導を行ったものです。

２事案目は、令和６年１２月１７日（火）に管内で発生した建物火災において、付近にいた消防功績者の２人が連携し、迅速な初期消火を行ったものです。

消防功績者５人の勇気ある行動と迅速かつ適切な判断により、延焼防止と被害の軽減に大いに貢献しました。

【１事案目の表彰状贈呈後の記念撮影】

【２事案目の表彰状贈呈後の記念撮影】

◆　火災予防フェアを開催

東京消防庁（東京）

東京消防庁練馬消防署では、令和７年３月２日（日）、火災予防フェアを開催しました。

当日は、９００人以上が来場し、消火器体験、応急救護体験、消防車の展示、はしご車乗車体験、消防隊の訓練演技、Ｆｉｒｅｆｉｇｈｔｅｒ展（職員による作品展）などを行ったほか、阪神・淡路大震災から３０年という節目の年であることから、震災コーナーを設け、記録写真の展示などを実施し、多くの方が防災体験で楽しみながら学ぶ姿をみることができました。

また、消火器体験と応急救護体験後に参加できるカプセルトイでは、行列ができるほど子供たちから大好評で、アンケートでは来年の開催を待ち望む声を多くいただきました。

【消火器体験の様子】

【応急救護体験の様子】

◆　火災予防コラボイベントを実施

奈良市消防局（奈良）

奈良市消防局では、令和７年３月２日（日）、春季全国火災予防運動の一環として、マクドナルド阪奈宝来店において、奈良市マクドナルドフランチャイジーとプロサッカーチームの「奈良クラブ」とコラボレーションした火災予防コラボイベントを実施しました。

このコラボイベントは、地域社会の発展と住民の方々の火災予防に対する意識の向上を図ることを目的として、官民連携で企画し実施したものです。

当日は、同店従業員と同クラブサッカー選手の皆さまにオリジナルワッペンを装着していただき、店内では、火災予防広報ポケットティッシュの配布と当消防局のマスコットキャラクター「なっぴぃ」との記念撮影を行いました。

また、店外では、消防車との記念撮影と同クラブによる火災予防キックボウリングエリアを設け、大人から子供までがさまざまな形で火災予防の大切さについて、楽しみながらも学ぶ姿を見ることができました。

今後も、地域民間企業と消防との連携を大切にしながら、火災予防に努めてまいります。

【記念撮影】

【公式コラボポスター】

◆　航空機給油取扱所の３市査察を実施

伊丹市消防局（兵庫）

伊丹市消防局では、令和７年３月７日（金）、大阪国際空港において、航空機給油取扱所の査察を実施しました。

当消防局では、毎年、春季全国火災予防運動の一環として、空港危険物施設の査察を実施しています。

今年は、「大阪・関西万博」の開幕を控えており、利用客の増加が見込まれることから、同空港の航空機給油取扱所が位置する、当消防局、豊中市消防局、池田市消防本部の危険物担当者が合同で査察を行いました。

また、航空機への給油作業や緊急時の安全対策設備などを検査するとともに、地下埋設配管の点検用トンネルに入り配管の状態を確認しました。

今後も、あらゆる機会をとらえ３市消防間で連携強化を図るとともに、空港の安全に寄与してまいります。

【査察の様子】

◆　一日消防署長を委嘱し防火広報と消防演習を実施

岩国地区消防組合消防本部（山口）

岩国地区消防組合消防本部では、令和７年３月１３日（木）、地元山口県岩国市出身の短距離陸上選手である君嶋愛梨沙氏に一日消防署長を委嘱し、防火広報と消防演習を実施しました。

当日は、管理者（岩国市長）表敬訪問とＪＲ岩国駅において住宅用火災警報器の設置促進に関する広報を実施していただいた後に、指揮官として消防演習に参加していただき、同氏の「活動はじめ。」の号令により、高層建物火災を想定した訓練を開始し、隊員からの報告に対して大きな声で返していただきました。

訓練を通じて、アスリートならではの凛々しい姿を披露していただくとともに、消防自動車からの放水とはしご車の搭乗を体験していただき、同氏から「地域の皆さまが防災に対する意識を再確認する機会になってほしいです。」との講評をいただきました。

今後も、防火・防災意識について理解を深めていただけるよう、さまざまな予防啓発活動に努めてまいります。

【管理者表敬訪問後の記念撮影】

【消防演習の様子】

◆　「１ＤＡＹインターンシップ」を開催

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和７年３月１５日（土）、消防職に興味のある方を対象とした「１ＤＡＹインターンシップ」を開催しました。

このイベントは、職業意識の向上を図るとともに、消防業務への理解を深めていただき、人材確保につなげることを目的として、初めて開催したものです。

当日は、３８人が参加し、午前中に消防業務の説明と職員による講話を行った後に、放水体験を実施し、午後は、消防隊、救助隊、救急隊が実際に行う活動を参加者全員に体験していただきました。

参加者から「憧れだけでは消防業務はできないことを実感しました。」、「消防職員になるという夢が固まりました。」などの感想を聞くことができ、参加者の満足度が高いイベントとすることができました。

今後も、消防の魅力を発信するため、消防業務を体験する機会を提供し、人材確保につなげてまいります。

【放水体験の様子】

【記念撮影】

消防学校からの便り

◆　専科教育「警防科」を実施

兵庫県立広域防災センター消防学校（兵庫）

兵庫県立広域防災センター消防学校では、令和７年３月１０日（月）から３月２１日（金）までの期間中、専科教育「警防科」を実施しました。

期間中は、臨場感ある火災現場の室内を再現した仮設の検索訓練場において、屋内検索手法訓練を実施しました。

訓練を通じて、さまざまな検索体形要領、検索隊員命綱の設定方法、検索資器材の検証を行い、その有効性などを体験しながら確認することができました。

さまざまな火災現場環境に応じた検索体形の選定と、万が一、危機的状況に陥ったとしても適切な判断のもと、より安全かつ迅速に対応できるよう、今後も、技術・知識が向上する教育に努めてまいります。

【訓練の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆　緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画の変更について（通知）

（消防広第３５号、令和７年３月１９日）

総務大臣村上誠一郎から各都道府県知事あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 45 条第 2 項の規定に基づき、緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画を別添のとおり変更したので通知します。

貴職におかれましては、この内容を十分承知の上、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても周知願います。（別添省略）

―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/0319_kouiki.pdf）に掲載されています。

◆　「ロケ撮影の円滑な実施のためのガイドライン」の改定について

（消防予第１２５号、令和７年３月２５日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

各消防本部等におかれましては、ロケ撮影等に際し関係者が演出等を行うため、火災と紛らわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為等を行う場合には、ロケ撮影の円滑化のため、「ロケ撮影の円滑な実施のためのガイドライン」（令和２年８月 27 日付け消防予第 251 号）を踏まえ、関係機関と密に連携するとともに、特にフィルムコミッションとの窓口の明確化、必要に応じた届出者等への助言及び情報提供の実施など、適切に対応していただいているところです。
―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/250325_yobou01.pdf）に掲載されています。

消防庁予防課予防係
担当：川合、泉、倉田
TEL：03-5253-7523

報道発表

◆　「火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討報告書」の公表

（令和７年３月２５日、消防庁）

「火災危険性を有するおそれのある物質」及び「火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある物質」を早期に把握し、それらの危険性を評価することにより、消防法の危険物又は消防活動阻害物質としての追加等に関して検討を行うため、「火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討会」（座長：新井充東京大学名誉教授）を開催しました。

この度、調査検討報告書が取りまとめられましたので、公表します。
―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/250325_kiho_2.pdf）に掲載されています。

＜問合せ先＞
消防庁危険物保安室　根本課長補佐、馬場係長、長嶺事務官
TEL：03-5253-7524（直通）

◆　「令和６年度危険物施設におけるスマート保安等に係る調査検討会報告書」の公表

（令和７年３月２５日、消防庁）

昨今、各分野において技術革新やデジタル化が急速に進展しており、危険物施設について安全性、効率性を高める新技術の導入により効果的な保安を行うこと（スマート保安）の実現が期待されています。

このような状況を踏まえ、セルフ給油取扱所における AI の活用や、可燃性蒸気等の滞留するおそれのある場所の明確化のあり方等について検討しました。

この度、報告書がとりまとめられたので公表します。

―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/d2ff1e0403f74d006cbb5bcb278fe36704884eb5.pdf）に掲載されています。

＜問い合わせ先＞
消防庁危険物保安室　千葉、三宅
TEL：03-5253-7524　（直通）
E-mail：fdma.hoanshitsu_atmark_soumu.go.jp
※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

情報提供

◆　２０２５年度「全国統一防火標語」および防火ポスターについて

一般社団法人日本損害保険協会

一般社団法人日本損害保険協会（会長：城田宏明）では、１９４９年度から、防火意識の高揚を目的として、全国統一防火標語・防火ポスターによる啓発活動を行っています。

２０２５年度の防火標語は「急ぐ日も　足止め火を止め　準備よし」に決定しました。

また、俳優の田畑志真さんをモデルに起用して、同標語を掲載した防火ポスターを約２０万部制作しました。

本ポスターは、今後、総務省消防庁の協力のもと、全国の消防署や役所などの公共機関等に、２０２５年４月から翌年３月まで掲出され、明るく爽やかな田畑さんの笑顔とともに、防火意識を持つことの大切さを全国に呼びかけます。

当協会では、社会の安心・安全に貢献するため、今後も防火・防災に係る啓発活動に取り組んでまいります。

【２０２５年度防火ポスター】

◆　「救急救命の高度化の推進に関する調査研究事業」及び「救急に関する調査研究事業」研究報告書のご案内について

一般財団法人救急振興財団

1　事業概要

⑴　救急救命の高度化の推進に関する調査研究事業
プレホスピタルケアの質の向上と救急業務の諸問題の解決に向けて、必要な研究を行うことを目的に、当財団が指定するテーマに沿った研究課題で調査研究を行う委託先を募集するもの。

⑵　救急に関する調査研究事業
救急業務に関する先進的な調査研究を行う団体に対し、当該研究に必要な経費の助成を行うもの。

上記事業の研究報告書を当財団ホームページにてご案内しており、新たに下記の内容を掲載しました。全文を無料で公開していますので、ぜひご覧ください。

【救急救命の高度化の推進に関する調査研究】

⑴　京都府立医科大学救急医療学教室
高齢者救急診療の質向上のための体系的な教育システム構築と効果検証

⑵　日本医科大学多摩永山病院
病院前救護分野での研究活動に関する教育コンテンツの開発と実装

【救急に関する調査研究】

⑴　日本医科大学付属病院救命救急科
全国ドクターカーレジストリ調査を活用した病院前診療活動の適正化

⑵　兵庫県立こども病院救急科
網羅的遺伝子解析を用いた小児心停止症例の原因究明

⑶　新潟医療福祉大学大学院
電動ストレッチャー等の導入が救急隊員と傷病者の医療安全に与える影響の評価

⑷　札幌医科大学救急医学講座北海道病院前・航空・災害医学講座
救急隊員のワークエンゲイジメントに関連する因子の解明

⑸　札幌医科大学医学部公衆衛生学講座
我が国の救急搬送患者を対象とした早期警告スコアを用いた重症度評価の妥当性の検証

⑹　国士舘大学防災・救急救助総合研究所
民間救急資源を活用した地方自治体の救急需要対策の実証検討

※　本研究成果の全文を当財団ホームページに無料で掲載しており、閲覧・印刷可能です。下記の二次元コードから研究報告書をご覧いただけます。なお、**無断転載を禁じます。**

「救急救命の高度化の推進に関する調査研究」
(https://fasd.jp/pages/17/)

「救急に関する調査研究」
(https://fasd.jp/pages/411/)

※　上記研究のほか、現在も研究中のものがありますが、そちらについては研究完了次第、順次掲載いたします。

※　「救急救命の高度化の推進に関する調査研究」については、印刷・製本し、全国の消防本部及び関係機関等に配布しています。

※　消防本部等からの積極的な研究応募申請を、心よりお待ちしています。

一般財団法人救急振興財団
連絡先：企画調査課
〒192-0364　八王子市南大沢４－６
TEL　042-675-9931
E-mail　kikaku-info@fasd.or.jp

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事
②知識・技術の伝承―教えて！消防技術―
③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（№０６１７）１ページ、機関誌「ほのお」２０２４年４号（４／２５発刊）２９ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622　機関誌「ほのお」担当：企画課　中西
原稿データは、kikakoho@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】
・写真中心のビジュアルな広報
・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】
・文章は、Word で１００文字程度で作成をお願いします。
・写真は、Word に貼り付けず、JPEG 画像データを１枚送付してください。
・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622　機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課　中西・児嶋
原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。
※添付ファイルの容量が５ＭＢを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】
・原則毎週刊行される、速報性のある広報
・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】
・配信日（原則火曜日）から前２週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
・文章は、Word で２００～４００文字程度で作成をお願いします。
・写真は、１～２枚を Word に貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG 画像データを送付してください。）
・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課　木原
原稿データは、weekly@fcaj.gr.jp に送信願います。